

## 第6章 主要な成果指標

指標名	現状値※ <sup>1</sup>	目標値※ <sup>2</sup>	備考
市内総生産額（名目）	3兆6,696億円	4兆円 (2033年度)	—
女性の就業率 (25～44歳)	75.5%	82.0%	国が掲げる目標値の達成を目指す
商業地地価（小倉） ※主要地点の平均地価	580,000円/㎡	871,000円/㎡ (2033年)	現状値の1.5倍を目指す
商業地地価（黒崎） ※主要地点の平均地価	148,000円/㎡	227,000円/㎡ (2033年)	現状値の1.5倍を目指す
将来の夢や目標を持っている子どもの割合	小学生 81.1% 中学生 66.8%	精査中	今後策定する次期教育プランとの整合性を図る
合計特殊出生率	1.46	1.8	国の希望出生率の達成を目指す
健康寿命	男性 71.9歳 女性 75.6歳	男性 76.0歳 女性 77.0歳	政令市1位の水準を目指す
地域活動に参加したことがある市民の割合	50.9%	60%	—

指標名	現状値	目標値	備考
安全なまちと認識している市民の割合	86.0%	90%	—
北九州市に住み続けたいと思う市民の割合	83.8%	90%	—
北九州市への誇りや自信があると答えた市民の割合	55.0%	80%	—
社会動態	▲48人 (2022年)	+1,000人	—
推計人口	916,241人 (2023年10月1日)	将来推計人口を上回る人口	国立社会保障・人口問題研究所が5年ごとに公表する将来推計人口を都度上回る

※ 上記の成果指標以外についても精査中

※1 現状値は、2023年11月20日現在の公表値。  
ただし、現状値に括弧書きのある指標を除く。

※2 目標値は、基本計画策定から5年後に達成を目指す数値。  
ただし、目標値に括弧書きのある指標を除く。

## 第7章 7つの個性が輝くまちづくり

### 1 門司区

門司区は、北九州市の北東部にあり、関門海峡を挟み、対岸に本州を望む九州の玄関口に位置しています。

陸、海の交通の要衝であり、世界各国に航路を持つ国際貿易港として発展しました。現在は大型の臨海産業団地やフェリー基地などがあり、日本有数の物流拠点となっています。

歴史的建造物が数多く残っており、美しい街並みを形成しています。また、三方を海に囲まれ、豊かな自然に恵まれる風光明媚な観光のまちでもあります。



#### (1) 地域資源・ポテンシャル

##### ①産業

西日本有数の規模を誇る太刀浦コンテナターミナルをはじめ、新門司フェリーターミナル、北九州貨物ターミナル駅、大型臨海産業団地のマリナクロス新門司など、多くの港湾・物流施設が集積し、日本有数の一大物流拠点を形成しています。

##### ②都市機能

公共施設マネジメントにおけるモデルプロジェクトとして、公共施設の集約・再配置に向けた取組みを進めています。

##### ③観光・歴史



古くから国際貿易の拠点として発展してきた門司区では、明治・大正・昭和初期に建てられた多くの歴史的建造物を見ることができます。

特に門司港レトロ地区では、国の重要文化財に指定されている門司港駅や旧門司三井倶楽部のほか、旧門司税関などが往時の繁栄を偲ばせる街並みを形成しています。また、九州

鉄道記念館や関門海峡ミュージアム、観光列車「潮風号」などの観光施設もあり、全国的にも有名な観光名所となっています。

大里地区の門司赤煉瓦ブレイスには、大正時代に建造された煉瓦造りの美しい建物が残っており、海岸沿いのレンガ倉庫とあわせて、かつて、三井・三菱財閥と並ぶ大企業だった鈴木商店が築いた一大工業エリアとしての歴史を感じる景観をつくり出しています。

ほかにも、柳の御所や戸上神社、猿喰新田潮抜き穴跡などの文化遺産が数多く残っています。また、壇ノ浦の戦いや巖流島の決闘など、歴史的な戦いの舞台でもありました。



##### ④自然・食

三方を囲む海と風師山や矢筈山などの山々に広がる豊かな緑が、雄大な景色を作り出しています。ほかにも、四季の花咲く白野江植物公園やホタルの生息する井出谷川、松ヶ江北貯水池などがあり、豊かな自然に恵まれています。漁業が盛んな地域でもあり、「豊前海一粒かき」や「豊前本ガニ」、「関門海峡たこ」などは特産品として高い人気があります。

##### ⑤関門連携

関門海峡を挟んで向かい合う北九州市と下関市は、古くから密接な関係を持ちながら一体的な都市圏・経済圏を形成してきました。今後、関門連携の一層の推進により、観光や市民間交流の活性化が期待されます。

#### (2) まちづくりの方向性

○リゾートの雰囲気が高い、観光客と地域住民が融合する「観光と生活の場」をまるごと豊富なストックとして捉え、「働く場」や「学ぶ場」との一体化を促進することにより、訪れたい、住んでみたい、住み続けたいまちをつくります。

○門司港レトロ地区をはじめとする各地区の歴史や文化、自然、食などの地域資源を地域の方々との協働により磨きあげるとともに、回遊性を高め、下関市との更なる関門連携のもと、関門エリアの価値向上を図ります。

○太刀浦コンテナターミナルや新門司フェリー、ROROターミナルなどの港湾・物流機能の強化を図るとともに、航路誘致や広域からの集貨に取り組み、物流拠点化を推進します。

#### (3) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・日常の景色が本当に素晴らしく、時間がゆっくりと流れていて、家に帰ってくるだけで癒される。このすばらしい景色の中で暮らす価値を大事に思う人が増えてほしい。
- ・住む人、観光で来る人、仕事をする人、色々な人が集まる魅力あるまちにしたい。
- ・色々な歴史が積み重ねられた地域そのものが一つの教材となっている。まち全体が学びの場となれる可能性を持っている。
- ・門司でフィールドワークをする際、地域の方々との顔の見えるコミュニケーションや地元の方々から受けるつながりというものに非常に価値を感じている。
- ・下関を挟んだ関門エリアをはじめ、白野江地区や大里地区などの拠点をいかにして便利に回るか、きっかけづくりも含めて、考える必要がある。
- ・魅力を生かした観光と港湾産業の拡大に取り組み、働く場所、住む人が増えていく。

## 2 小倉北区



小倉北区は、長崎街道をはじめとした九州五街道の起点であり、古くから陸上交通の要衝でした。江戸時代における城下町の形成を契機に発展してきたまちで、現在も商業や流通、金融、情報、医療、コンベンションなどの都市機能が集積する「北九州市の顔」となっています。

区を中心部には紫川が流れ、足立山、山田緑地など、緑豊かな自然環境にも恵まれています。また、小倉城をはじめ、様々な歴史・文化・芸術施設が数多くあります。

### (1) 地域資源・ポテンシャル

#### ①産業

小倉駅周辺において、コワーキングスペースやシェアオフィスの整備促進により、スタートアップ企業の創出やサテライトオフィスの設置などを誘引し、若年層の雇用の場や新たなビジネスモデルの創出を図っています。

また、民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図るため、補助事業の新設・拡充や容積率などの各種規制の緩和を行う取組みを推進しています。

#### ②都市機能

九州第2位の利用客を誇る小倉駅には、新幹線や在来線、モノレールが乗り入れています。さらに、ここから区内外への路線バス網が広がるなど、小倉駅を中心に非常に高い機能を持つ広域の交通ネットワークが形成されています。



また、同駅の北側には、展示場や国際会議場、ホテルなどの MICE 施設、球技専用のスタジアムが立地しています。さらに、南側には日本で初めて公道上にアーケードが設置された商店街のほかに、オフィス街や繁華街などが広っており、高次の都市機能が集積しています。

#### ③住環境・自然

高い交通機能に加え、雇用機会やアミューズメント機能も充実しており、「住む」「育てる」「働く」「遊ぶ」ための様々な都市機能がコンパクトにまとまっているのが特長です。

また、北九州市のシンボル公園である勝山公園があるほか、足立山や山田緑地、到津の森公園、藍島などの豊かな自然にも容易にアクセスできるなど、住環境としても高い魅力を持っています。

#### ④観光・歴史・文化・食

小倉城や松本清張記念館、北九州芸術劇場、漫画ミュージアム、平和のまちミュージ

アム、TOTO ミュージアムなど、歴史や文化芸術に関する多様な施設が充実しており、市民はもとより、インバウンドをはじめ、国内外から多くの観光客が訪れる人気のスポットとなっています。また、小倉名物「ぬかみそ炊き」や地元の魚介を使った寿司など、魅力的な食文化も観光資源となっています。

北九州市の台所として、長年にわたり市民に親しまれている旦過市場も観光名所の一つとなっており、現在、安全性の確保とさらなる魅力の向上に向け、神嶽川の改修と合わせた再整備を行っています。

400年以上の歴史を持ち、国の重要無形民俗文化財に指定されている小倉祇園太鼓や、市民の心を一つに合わせ多くの人々が楽しめる「わっしょい百万夏まつり」は、北九州市を代表する祭りであり、毎年、多くの人が集まり、小倉のまちを賑わせています。

そのほか、日本夜景遺産に認定された足立公園の夜景や小倉イルミネーションなどの観光資源を活用しながら、行政・地域・民間団体が一体となってイベントの開催や情報の発信を推進しています。



### (2) まちづくりの方向性

○高い機能を持つ都市・交通基盤を生かし、オフィスや都市型住宅の集積を促進するとともに、魅力的なエンターテインメントやショッピングを充実させ、若者やクリエイティブな人材が集まり、北九州市の顔にふさわしい、賑わいと活力がみなぎるまちをつくりまします。

○小倉地区において、建物1階の民間部分と歩道や公園の公共部分を、官民が連携して一体的でまちに開かれた快適な空間とし、併せて、沿道の魅力を向上することで、ワクワクして歩きたくなるまちなかを創出します。

○歴史や祭り、伝統芸能などの継承・振興を図るとともに、その魅力を資源として賑わいの創出やシビックプライドの醸成を図る、歴史と文化を生かしたまちづくりを推進します。

### (3) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・住まいや交通、公共サービス、商業施設といった都市に必要な機能がコンパクトに集まっていて、暮らしやすく働くしやすいまちというのは小倉北区の重要な強み。
- ・クリエイターやデザイナーなどの若者のチャンスを作っていくことが大事。
- ・小倉は若い人がわくわくするまちになっていないとだめ。
- ・休憩もできて、安全で快適に移動できるようなまちなかの整備が必要。
- ・安心して生活ができて、面白さ、わくわくの溢れるコンパクトなまち、色んな人が新たな楽しみをもって生活できるような、前向きな明るいまちにしたい。
- ・自然や歴史、文化、伝統、食などの魅力を更に向上させ、回遊性を高めることが重要。

### 3 小倉南区

小倉南区は、市内で人口が2番目に多く、最も面積が大きな区です。山、川、海の多彩な自然と田園が広がり、農林水産業が盛んな一方で、自動車関連産業をはじめとした各種企業が立地しています。また、利便性の高い交通網を背景に物流拠点としての重要性も高まっています。

鉄道やモノレール、高速道路などの社会インフラも充実しており、沿線には良好な住宅地が広がっています。



#### (1) 地域資源・ポテンシャル

##### ①産業



九州縦貫自動車道や東九州自動車道、北九州都市高速道路、国道10号など、東西南北を結ぶ広域道路ネットワークの結節点となっており、その高い物流機能を背景に、臨空産業団地や北九州空港跡地産業団地などには、自動車産業関連企業が集積しています。

現在、恒見朽網線などの整備により、さらなる物流機能の強化に向けた基盤づくりを進めています。

北九州空港は、九州・中四国で唯一、24時間利用が可能な海上空港であり、将来活用可能な広大な土地を有しています。その特性を生かし、旅客便の誘致に加え、大型貨物機の長距離運航を可能とする滑走路の3,000m化など、物流拠点化に向けた取組みが進んでいます。

##### ②教育・地域

北九州市立大学をはじめ、高度な技術を学ぶ九州職業能力開発大学校（九州ポリテクカレッジ）や北九州工業高等専門学校など、多くの教育機関が集まっています。

また、全国的にも珍しい一歩上をいく子育ての取組みである「プレイセンター」をはじめ、子育てや健康づくりを通して人がつながり、人と地域が育つ素地があります。

##### ③歴史・文化

曾根古墳群などの史跡が多く残されているほか、昔から農業が盛んな地域であったことから、雨乞いや豊作祈願を芸能化した「楽（がく）」や神々に奉納する神楽、盆踊りなどの伝統行事が地域に受け継がれています。また、小倉南区の誕生とともに始まった「まつりみなみ」は、老若男女が楽しめるイベントとして大切な地域交流の場となっています。

##### ④自然・食

北九州国定公園に指定され、日本有数のカルスト台地として有名な平尾台では、春の

野焼き、新緑、秋のすすき野などの四季の変化に加え、鍾乳洞探検（ケイビング）やトレイルランニングなど、他では味わえないアクティビティを楽しむことができます。また、「ソラランド平尾台」には、グランピングやキャンプ場、アスレチックなどの施設が整備されており、様々な体験ができる観光地として人気が高まっています。

ほかにも、カブトガニや渡り鳥などの希少生物の宝庫である曾根干潟や合馬の竹林、菅生の滝、長野緑地など、多様な自然に恵まれています。

農林水産業も盛んで、全国的に有名な「合馬たけのこ」をはじめ、「小倉牛」や「豊前海一粒かき」などは、北九州市の特産品として人気を集めています。



#### (2) まちづくりの方向性

○豊かな自然を生かし、四季折々の景観や地域の歴史や文化を感じながら行うウォーキングなどにより、健康づくりや居場所づくりを推進し、元気で生き生きとした生活が楽しめるまちをつくります。

○平尾台や曾根干潟などの自然を生かし、希少な体験ができる観光と学びの場の形成を図ります。さらに地元の特産品や伝統、文化の魅力を加え、質の高い地域ブランドを創出することにより、内外のファンを増やし、交流人口や関係人口の増加を図ります。

○各地域の祭りやイベントを通じて、世代を超えて人と人が“つながろう”という想いを力に変えるとともに、2地域居住の促進などにより、関係人口を増やすことで、地域課題の解決を図り、ずっと住んでいたいと思えるまちをつくります。

○広域道路網の高い物流機能を生かし、物流業や製造業に係る企業の誘致に取り組みます。また、北九州空港のゲートウェイ機能を生かし、「国内外との活発な交流を支える空港」と「九州・西中国の物流拠点空港」の実現に向けた取組みを推進します。

#### (3) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・子どもが五感を使って遊び込める自然豊かな環境があることはものすごい強み。平尾台やカブトガニの居る曾根干潟など、その本質的な魅力と価値を市民はもちろん、日本や世界の人に届けていけば、観光で稼げるまちになる。
- ・海あり、山あり、川ありと自然豊かな地域。都会にみならず、田舎にみならず、かつ小倉へのアクセスが良いので、ベッドタウンとしては最適な地域だと思う。
- ・まつりみなみのような祭りを大切にしつつ、もっと活気のあるまちになってほしい。
- ・産業を強めたり、空港を生かした国際物流エリアの整備などで雇用を産み出してほしい。北九州空港の活用が小倉南区だけでなく北九州市全体の発展のカギ。

## 4 若松区



若松区は、かつては筑豊炭田の石炭積出港として栄え、日本の産業発展を支えてきました。現在は高い港湾・物流機能などを背景に、製造業に係る企業が多く立地するとともに、環境産業や再生可能エネルギー産業の集積が進んでいます。

周囲を響灘と洞海湾に囲まれ、中央部は広く緑に覆われるなど、豊かな自然に恵まれており、水産物や農産物の生産が盛んな地域です。

### (1) 地域資源・ポテンシャル

#### ①産業

製造業が盛んで、特に響灘地区には、広大な産業用地や充実した港湾施設、アジアへの近接性といった優位性から、多くの企業が立地しています。また、北九州エコタウンには数多くのリサイクル関連産業が集積するとともに、近年は、太陽光や風力、バイオマス発電などの再生可能エネルギーの産業拠点化も進んでいます。

#### ②北九州学術研究都市

区西部にある北九州学術研究都市は、アジアに開かれた学術研究拠点及び新たな産業の創出と技術の高度化を支える知的基盤として開設され、北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学のほか、様々な研究機関などが一つのキャンパスに集積しています。

ここを拠点に、半導体や自動車、ロボット、AI、環境といった様々な分野において、産学の連携による新技術の開発や新たなビジネスの創出のほか、海外の大学との交流や連携、留学生の支援など、グローバルな視点での教育・研究活動が行われています。

#### ③観光・歴史・文化

若松南海岸通りには歴史的な建築物や産業遺産が数多く現存しています。国の重要文化財である若戸大橋とあわせて、日本一の石炭積出港として栄えた名残を感じる美しいまちなみを形成しています。

こうした景色や豊かな自然を背景に、若松が生んだ芥川賞作家である火野葦平の作品「花と龍」をはじめ、数多くの映画のロケが行われています。

また、「五平太まつり」など、地域の歴史や伝承を伝える祭りが盛んな一方、九州ジャズ発祥の地として、ジャズによるまちおこしも行われています。

#### ④自然

玄海国立公園に指定されている若松北海岸には夕日の名所として知られる遠見ヶ鼻や千畳敷のほか、市内で唯一の海水浴場があり、海水浴、釣り、マリンスポーツな



どを楽しむ人たちが賑わっています。さらに周辺には市場製品の販売施設やホテル、グランピング施設に加え、響灘緑地（グリーンパーク）や響灘ビオトープ、気軽に農業体験ができる観光農園などがあり、多様なアクティビティを楽しめます。

そのほか、高塔山は、桜やアジサイ、夜景の名所として知られ、昼夜を問わない人気の観光スポットとなっています。



#### ⑤食



西日本有数の生産量を誇るキャベツをはじめ、ブロッコリー、スイカなどの農産物の生産が盛んです。また、響灘海域は、魚介・海藻類の宝庫となっています。「若松潮風キャベツ」や「若松水切りトマト」、「若松妙見かき」などはブランド化され、その品質を高く評価されています。

ほかにも区内で栽培されたブドウを使ったワインや若松産ホップを使った地ビールを造る活動も行われています。

### (2) まちづくりの方向性

○石炭積出港として栄えた歴史や文化、豊かな自然や農水産物、多種多様な産業の集積など、若松ならではの多様な魅力を生かし、シビックプライドの醸成を図るとともに、誰もが住みたい、住み続けたいと実感できるまちをつくります。

○若松北海岸の豊かな自然や周辺の魅力的な食、アクティビティ、高塔山や若松南海岸の夜景などを活用し、市内外から多くの人々が訪れる観光地として、さらなる魅力の向上を図ります。

○物流機能の強化や環境産業などの集積を図るとともに、響灘地区での風力発電関連産業の総合拠点化や水素などの再生可能エネルギーの供給・利活用の拠点化などを推進します。また、半導体や宇宙・次世代自動車などの未来産業の振興に向け、学術研究都市における研究開発強化などに取り組みます。

### (3) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・豊かな自然やグリーンパーク、海、海岸線、地域住民の結束、若松好きが多いこと、美味しい野菜(トマト・キャベツ)など、いろいろな魅力がある。
- ・北海岸を中心にした自然や海産物、野菜、果物の収穫体験、自然体験を生かしたアクティブな体験型観光地が増えるとよい。
- ・若松北海岸がコートダジュールの様なリゾート地になってほしい。
- ・南海岸には建築遺産が多くあり、観光資源になる十分なポテンシャルがあると感じる。
- ・歴史のある企業や施設がたくさんあり、地元の人同士のつながりが強い。

## 5 八幡東区

八幡東区は、官営八幡製鐵所創業の地として、近代日本の発展の礎を築いた地域です。近年は東田地区では先端産業の集積や未来都市づくりが進み、既成市街地では大規模住宅跡地などを活用した新しいまちづくりが進んでいます。

国内有数の夜景スポットとして有名な皿倉山や河内貯水池などを中心に豊かな緑が広がっています。



### (1) 地域資源・ポテンシャル

#### ①産業

官営八幡製鐵所とともに日本の近代産業を支えた、長い歴史をもつ製鉄関連の企業が集積しています。また、東田地区では、IT、環境、新エネルギーなど、新たな分野の企業集積が進んでいます。現在は、東田・未来都市プロジェクトを展開し、MaaSに向けた実証や各種センサーを用いた人流の把握・分析など、社会課題の解決に向けた先端的な実証・実装事業が行われています。

#### ②都市機能

市内拠点をつなぐ鉄道や路線バスが充実するとともに、国道3号黒崎バイパスや北九州都市高速道路が市街地に直結し、交通アクセスに優れています。

また、北九州で唯一の小児救急・集中治療センターが併設されている市立八幡病院をはじめ、高度な診療機能をもつ総合病院や健診機関が集積しています。

#### ③住環境・地域

桃園公園のスポーツ施設や響ホール、東田地区の各種施設など、スポーツ・文化施設が充実しており、様々な学びや体験をする環境が身近に整っています。

また、九州国際大学や国際協力機構 JICA 九州センターが立地していることから、研修生や留学生などの外国人市民が多く、交流イベントなどを通じて、多文化に触れる機会も恵まれています。

そのほか、学生の長期継続的な地域活動への参加や地域団体による道路や公園を活用した定期的なイベント開催のほか、地域や企業で構成する団体が参加して平成29年度に「八幡東まちづくりプラン」を作成するなど、地域主体のまちづくりが進められています。

#### ④観光・歴史・文化・食

東田地区には、世界遺産関連施設の官営八幡製鐵所旧本事務所をはじめ、東田第一高炉跡、西日本最大級の自然史・歴史博物館である「いのちのたび博物館」、スペース LABO など、特徴ある施設が集まっています。さらに、スペースワールド跡地への大型商業施



写真提供：日本製鉄九州製鐵所

設の進出により、市内でも最大級の集客力をもつ地域となっています。

そのほか、明治34年(1901年)から続く「まつり起業祭八幡」や北九州市無形民俗文化財である前田祇園山笠などの伝統ある祭りに加え、製鉄のまちの歴史から生まれた八幡ぎょうざや堅パン、皿倉山の伏流水で造る日本酒に代表される多彩なグルメなど、魅力的な地域資源が数多くあります。

#### ⑤自然



皿倉山や河内貯水池、河内藤園、板櫃川などの豊かな自然が身近に広がっています。また、ケーブルカーで気軽に登ることができる皿倉山は、日本新三大夜景都市である北九州市を代表する夜景スポットであり、壮大で美しい夜景を見ることができます。

このほか、高見地区や前田地区の桜並木、河内地区の紅葉など四季折々の美しい景観を身近に楽しむことができます。

### (2) まちづくりの方向性

○歴史ある製鉄関連などの企業や先端産業が集積する東田地区と商店街などの市街地が連携して新たなビジネスの創出に挑戦し、ともに発展するまちづくりを推進します。

○夜景の名所である皿倉山や東田地区の各種施設、河内地区の自然など、高い集客力を持つ地域資源の連携を図るとともに、伝統文化に根差した祭りや食の魅力の活用、宿泊機能の強化などにより、訪れた人たちが循環し、滞在するまちをつくります。

○高い交通利便性や医療・健診機関の充実に加え、様々な体験や学びが身近にできる恵まれた環境を生かし、まちなかにある未利用地の利活用や居住の促進により、誰もが住み続けたいくなるまちをつくります。

○製鉄のまちとして培ってきたシビックプライドや、主体的にまちづくりに取り組んできた地域・市民・企業の力をこれからも育み、サステナブルなまちづくりを推進します。

### (3) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・八幡製鐵所とともに発展してきたまちの歴史、皿倉山、夜景、河内貯水池、環境未来都市づくり、祇園山笠、JICA 国際交流、世界遺産、ミュージアムパークなど、八幡東区にはユニークな強みがたくさんある。
- ・商店街や地域の活動が盛ん。八幡愛を持つ人が多い。八幡愛で溢れるまちにしたい。
- ・東田地区の大型商業施設に来た方をどのように循環させるかが大事。日本一の夜景を生かしながら、食などを絡めて宿泊へつなげていくなど。
- ・皿倉や河内の整備も非常に大事。豊かな自然を整備して観光資源とすべき。